

株式会社折兼

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>食の安心・安全と安定供給を実現するために不可欠な食品パッケージや流通を支えるインフラを提供する企業として、①環境負荷の少ない商品の開発・販売、②フードロス削減、③食品トレーのリサイクルに取り組んでいます。</p> <p>また、環境省が推進するプラスチックスマートキャンペーン、日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、オールジャパンで海と人と人をつなぐプロジェクト「海と日本PROJECT」にも参加しています。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 8/9/11/12/13/14/15/17	近年、世界的に環境問題が重要視され、環境に配慮した商品の需要が拡大しています。折兼では環境に優しい容器・資材の開発と拡販を進めており、特に力を入れているバガスシリーズは、2021年時点で100アイテム以上の商品展開となりました。	2021年7月、前年同月比で3倍の販売量となりました。今後、さらに環境に優しい資材の需要拡大が予測されており、より多くのお客様のニーズに合った商品開発を進めるとともに、2025年までに年間販売量3倍を目指してまいります。
	社会 2/3/8/9/11/12/13/14/15/17	将来活躍する子供たちに向けて、SDGsの学びを深める取り組みを進めています。これまでに、高校生とSDGsの学びを深めるワークショップの開催、子ども食堂への寄付活動などを行ってまいりました。	現在、小学生を対象としたSDGsの学びを深めるキャンプへの協賛・取り組みを予定しています。その他にも、地域や学生など社会を巻き込んだSDGsの普及活動を2025年までに年間10回以上開催することを目指してまいります。
環境 9/11/12/13/14/15/17	現在、使い捨てプラスチック容器の販売量が約12,000トン/年です。これらを100%植物性由来のバガス容器に代替した場合、プラスチックの使用量を削減できます。	今後、全体の10%にあたる1,200トン/年をバガス容器に代替できるよう取り組んでまいります。	